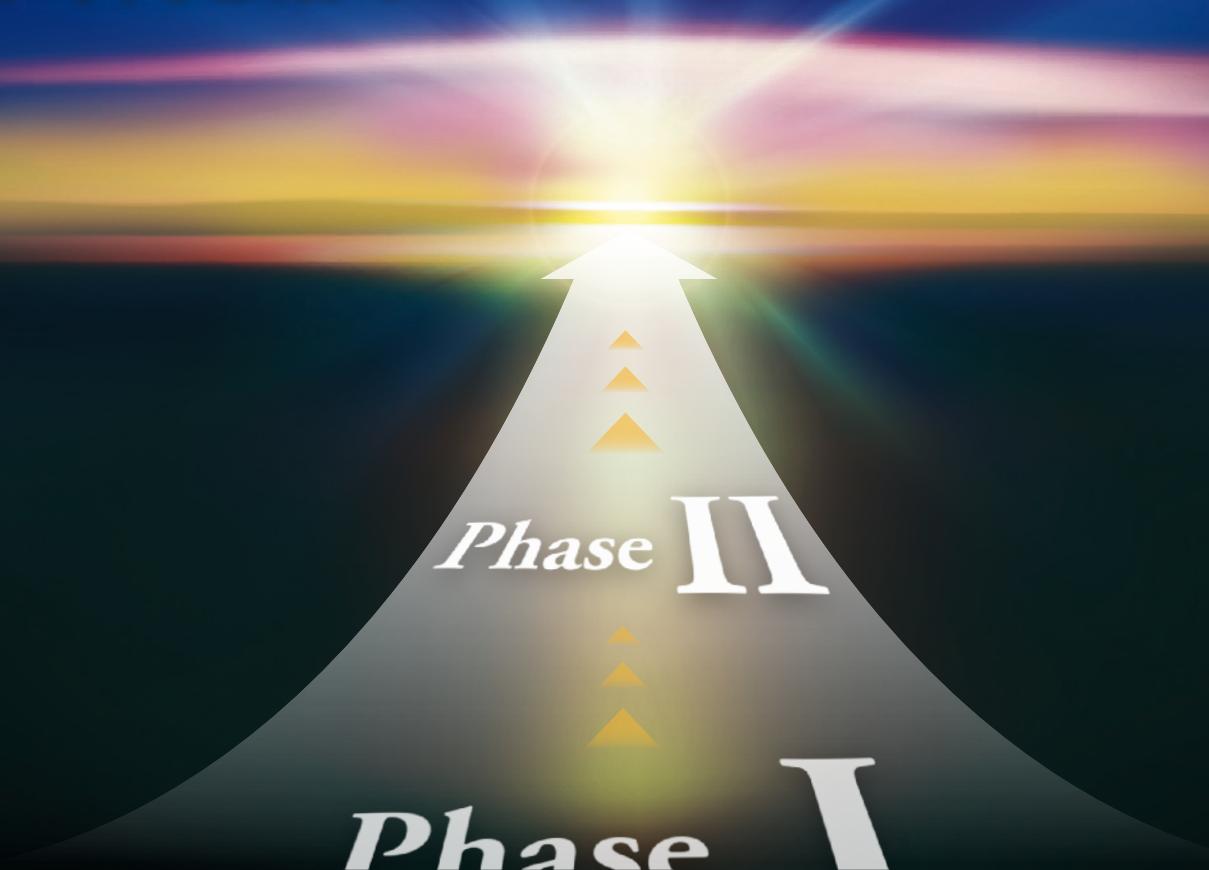


# Lasertec News 14

株 主 通 信 第 5 4 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (2015年7月1日~2015年12月31日)

## 新時代を築くレーザーテック



*Phase II*

*Phase I*

**Lasertec**

新中期経営計画の最終段階フェーズⅡ

# 新時代を築く

レーザーテック株式会社 代表取締役社長  
岡林 理



## 第2四半期連結累計期間の業績報告

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では順調な回復が続き、欧州においても回復傾向が鮮明となってきましたが、一方で、中国および新興国の景気減速、資源価格の大幅下落、米国の利上げが世界経済全体に及ぼす影響等、今後の懸念材料が増してきました。

当社を取り巻く事業環境につきましては、スマートフォンの成長が鈍化する見通しから、半導体業界ではファウンドリやDRAMメーカーが投資を抑制する傾向が継続し、厳しい市況となりました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、66億93百万円(前年同期比8.3%増)となりました。

営業利益につきましては13億4百万円(同25.5%減)、また純利益は9億34百万円(同21.0%減)となりました。利益面では前年同期を下回るものの、期初予想を上回る結果となりました。

今後の見通しにつきましては、厳しい市場環境ながらも、半導体用マスクブランクス欠陥検査装置をはじめ、その他の半導体関連製品やFPD用マスク欠陥検査装置を積極的に拡販することで、通期で売上高は158億円、営業利益37億円、純利益24億円を見込んでおり、期初の業績予想から変更はありません。

## 新中期経営計画の実現に向けて

2016年6月期(当期)は、新中期経営計画フェーズⅡ〔第54期～第56期(2015.7～2018.6)〕の初年度です。このフェーズⅡ「新時代を築く」では、次の目標を掲げています。

- 1 コアビジネスのさらなる強化
- 2 新規事業の二つ目の柱を立ち上げる

「1. コアビジネス」では、技術の最先端を走る7nmノードと呼ばれる次々世代デバイスに対応できる半導体用マスクブランクス欠陥検査装置MAGICSや、500ppi以上の高精細パネルに対応できるFPD用マスク欠陥検査装置CLIOSのさらなる強化を行い、業界標準機の地位を堅持してまいります。

また半導体用マスク欠陥検査装置MATRICSやレーザー顕微鏡OPTELCIS HYBRIDにおいては、いち早く新技術、新機能を開発、投入することで他社との差別化を図り、さらなるシェアの拡大を目指します。

「2. 新規事業」では、リソグラフィプロセス検査装置LX330でメモリーメーカー中心に営業活動を推進いたし

ます。また、パワー半導体向けのSiC\*ウェハ欠陥検査/レビュー装置は、当期に新モデルSICA88を発表しており、今後は海外でも標準機としての地位を確立し、一つ目の柱を確固たるものにします。

さらに、裏面照射型CMOSイメージセンサーや3次元デバイスといった新しいデバイス、構造、材料を対象とする新たな事業の芽を見いだし、二つ目の柱を育成してまいります。

そのために、全社員がマーケティング意識を強く持ち、さまざまなお客さまのニーズを汲み上げる活動を推進いたします。特に半導体の製造工程における新たなニーズの発掘に注力し、当期はその成果として、ウェハエッジ検査装置EZ300を開発いたしました。

レーザーテックは、どこよりも早くお客さまのご要望におこたえできる製品を開発し、お客さまに貢献すると同時に、業績向上と成長を目指してまいります。株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

\* SiC: シリコン・カーバイド(炭化ケイ素)。SiCは、パワー半導体用材料として注目を集め、開発・実用化が進んでいる。

## 第2四半期連結累計期間 業績ハイライト

売上高

6,693 百万円

前年同期比 8.3% 増 

受注高

6,891 百万円

前年同期比 25.0% 減 

営業利益

1,304 百万円

前年同期比 25.5% 減 

純利益

934 百万円

前年同期比 21.0% 減 

## 1. SiC ウェハ欠陥検査/レビュー装置「SICA88」 新製品発売(2015年9月24日)



SiCパワーデバイス\*の材料であるSiCウェハの欠陥検査/レビュー装置の最新機種「SICA88」を開発しました。SICA88は、SiCウェハ表面の各種結晶欠陥に加え、内部の欠陥も高感度に検出できるようになり、量産にも適応した装置です。SiCパワーデバイスを手がけるローム株式会社さまをはじめ、すでに複数の企業さまから受注しております。

SICAは発売以降、多くの出荷実績を上げシェアを伸ばしています。これからもSiCパワーデバイスの品質向上と生産体制の強化に貢献するため、製品開発に一層力を入れてまいります。

\* エアコンや太陽光発電システム、鉄道車両などに使用され、今後の市場拡大が期待されているデバイス。生産工程では結晶欠陥などさまざまな問題が発生し、ウェハの品質確保とコストの両面で課題を抱えている。

## 2. ウェハエッジ検査装置「EZ300」新製品発売 (2015年11月26日)

半導体製造の歩留まり向上に不可欠な、ウェハ外周部を検査するウェハエッジ検査装置「EZ300」を開発しました。従来のエッジ管理は、ウェハ外周部の検査から欠陥分類・確認・解析まで複数の装置を必要とし、1枚のウェハを解析するまでに長時間かかる高コストな管理でした。しかし、当社が開発したEZ300はウェハ外周部の検査から欠陥種別の原因特定、解析までを1台の装置で行え、低コスト管理を実現しました。また従来と比べ、短い時間で半導体製造プロセスへフィードバックでき、プロセスを最適化することができます。

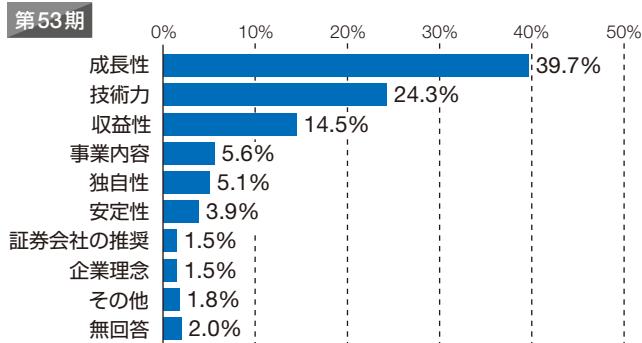


# 株主さまアンケート結果のご報告

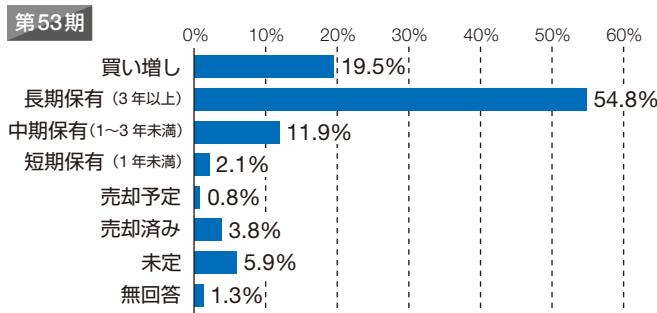
Lasertec News 13同封のアンケートにご協力いただきました。誠にありがとうございました。今回は、1,067名の株主さまよりご回答をいただきました(回答率20.0%)。

下記に、集計結果の一部をご報告いたします。

## 当社の株式をご購入の際、何を最も重視されましたか？



## 当社の株式の保有方針についてお聞かせください。



当社の株式をご購入の際もっとも重視されているのは、上位から成長性、技術力、収益性となり、上位3位は第52期と同様の結果でした。また、当社の株式の保有方針では、買い増し、長期保有、中期保有を合わせた比率が非常に高い結果(86.2%)となり、株主さまに御礼申し上げます。

自由記述欄にご要望やご意見をご記入いただきました株主さまにおこたえいたします。

1

技術力を磨き、時代のニーズに合った製品の開発がスムーズに進むことを期待しています。

新中期経営計画フェーズⅡでは、コアビジネスのさらなる強化とともに、新市場の開拓に取り組みます。お客さまのニーズにどこよりも早くこたえられる製品開発体制を整備し、これらを実践してまいります。

2

高いROA・ROEと期待ができる事業内容、長期保有で高いリターンが望めると考えています。

新中期経営計画は着実に進み、強固な財務体質の構築と高い利益率の達成へとつながっています。今後も引き続き企業価値の向上に努め、業績に応じた利益還元(連結での配当性向35%を目安とした利益配分)を遂行してまいります。

3

株式投資情報サイトやポータルサイトでのいち早い情報開示をお願いします。

当社は、法令および証券取引所の定める規則に従い、公平性を重視し迅速かつタイムリーな開示に努めております。またWebサイトにも、項目別に分かりやすいIR情報を掲載しております。(IRサイト <http://www.lasertec.co.jp/ir/>)

※ 当社のIRサイトは全上場企業を対象とした審査において、下記の評価を得ており、これからもIRサイトをはじめとする企業サイト全体の拡充を図ってまいります。

- Gomez IRサイトランキング 2015年4月 「優秀企業：銅賞」
- 大和インベスター・リレーションズ 2015年インターネットIR 「優良賞」
- 日興アイ・アール 2015年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング 総合ランキング 「優良サイト」

今後も、株主さまからの貴重なご意見・ご要望を経営に反映させるよう、引き続き努力してまいります。

# 2016年6月期（第54期）第2四半期累計期間の連結決算のご報告

## 連結貸借対照表(要約)

(百万円未満切り捨て)

科目	当第2四半期 2015年12月31日	前第2四半期 2014年12月31日	前連結会計年度 2015年6月30日	科目	当第2四半期 2015年12月31日	前第2四半期 2014年12月31日	前連結会計年度 2015年6月30日
資産の部				負債の部			
流動資産	15,850	13,889	16,299	流動負債	3,039	2,906	3,421
				固定負債	196	215	188
固定資産	7,151	7,378	7,322	負債合計	3,235	3,122	3,610
				純資産の部			
資産合計	23,001	21,268	23,621	株主資本	19,545	17,874	19,648
				① 純資産合計	19,765	18,145	20,011
				負債純資産合計	23,001	21,268	23,621

## 連結損益計算書(要約)

(百万円未満切り捨て)

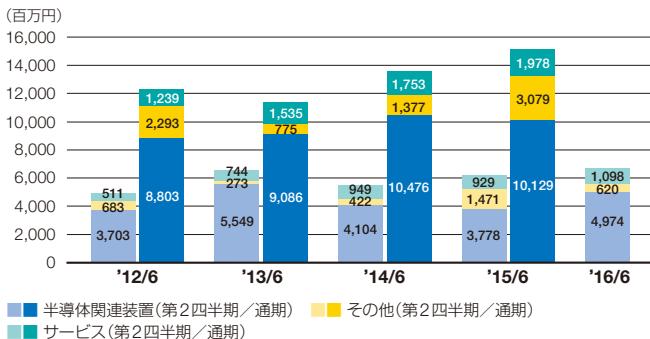
科目	当第2四半期 (自2015年7月1日 至2015年12月31日)	前第2四半期 (自2014年7月1日 至2014年12月31日)	前連結会計年度 (自2014年7月1日 至2015年6月30日)
② 売上高	6,693	6,179	15,187
売上原価	3,251	2,717	6,709
売上総利益	3,441	3,462	8,478
販売費及び一般管理費	2,137	1,711	3,755
③ 営業利益	1,304	1,751	4,722
③ 経常利益	1,305	1,775	4,630
③ 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	934	1,182	2,953

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(百万円未満切り捨て)

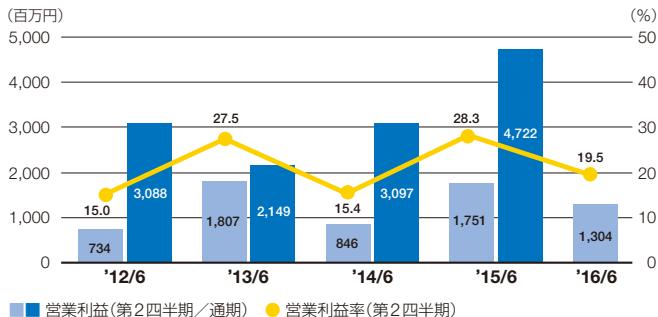
科目	当第2四半期 (自2015年7月1日 至2015年12月31日)	前第2四半期 (自2014年7月1日 至2014年12月31日)	前連結会計年度 (自2014年7月1日 至2015年6月30日)
④ 営業活動による キャッシュ・フロー	1,275	△2,083	1,032
投資活動による キャッシュ・フロー	△55	△30	△82
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,037	△609	△611
現金及び現金同等物の 期首残高	6,537	6,120	6,120
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	6,672	3,469	6,537

## 製品別売上高

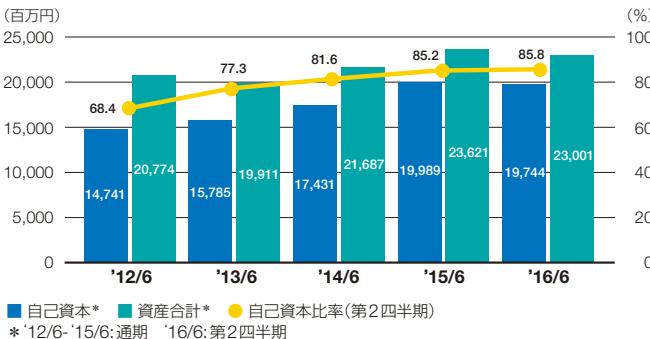


※2014年6月期より、これまでのFPD関連装置およびレーザー顕微鏡の売上高は、その他とすることに変更し、過去の製品別売上高も遡及修正しています。

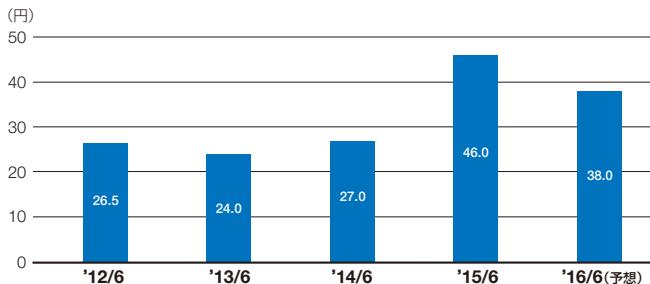
## 営業利益・営業利益率



## 自己資本・資産合計・自己資本比率



## 年間配当金



※2013年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。上記の数字は株式分割が2012年6月末時点で実施されたものとして計算したものです。

第2四半期：7月1日～同年12月31日 通期：7月1日～翌年6月30日

## 決算のポイント

### ① 純資産合計

株主資本にその他の包括利益累計額および新株予約権を加えた純資産合計は、197億65百万円となりました。自己資本比率は85.8%で、引き続き財務の健全性を維持しています。

### ② 売上高

第3四半期に売上を見込んでいた一部製品の前倒しにより、期初予想を上回りました。

### ③ 営業利益、経常利益、四半期純利益

研究開発費の積極的な投資等により、利益面では前年同期を下回るものの、売上の増加により、期初予想を上回りました。

### ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少などの収入要因が、法人税等の支払いなどの支出要因を上回りました。

## 会社概要 (2015年12月31日現在)

社名	レーザーテック株式会社
所在地	〒222-8552 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目10番地1
設立	1962年8月
資本金	9億3,100万円
主な事業内容	下記製品の開発・製造・販売・サービス 1. 半導体関連装置 2. エネルギー・環境関連製品 3. レーザー顕微鏡関連製品 4. FPD関連装置
従業員数	連結 254名 単体 188名

## 役員

代表取締役社長 岡林 理	社外取締役 梶川 信宏 海老原 稔 下山 隆之
代表取締役副社長 楠瀬 治彦	常勤監査役 古賀 一正
常務取締役 内山 秀	社外監査役 齋藤 侑二 山田 博重
取締役 森泉 幸一 関 寛和	

## 株式情報 (2015年12月31日現在)

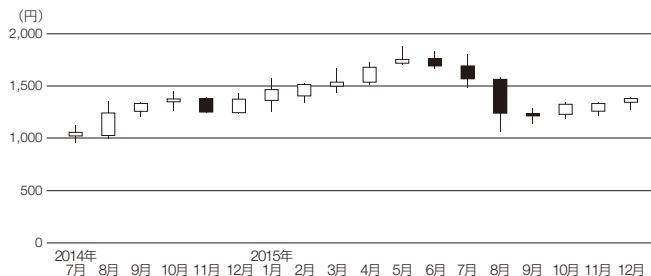
### 株式概要

上場市場	東京証券取引所市場第一部(証券コード6920)
発行済株式総数	23,571,600株
株主数	5,494名
大株主一覧	

	所有株式数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,171,800	4.97
内山 靖子	1,001,600	4.24
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	873,400	3.70
内山 洋	870,800	3.69
株式会社三菱東京UFJ銀行	752,000	3.19
内山 秀	697,000	2.95
前田 せつ子	646,800	2.74
THE BANK OF NEW YORK 133522	643,700	2.73
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	588,700	2.49
HSBC-FUND SERVICES CLIENTS A/C 500 HKMPF 10PCT POOL	520,100	2.20

(注)上記のほか、当社は発行済株式総数に対し、4.35%の自己株式を保有しています。

### 株価の推移



### 株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日(なお、その他必要あるときは、あらかじめ公告した日)

単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

**公告掲載URL** <http://www.Lasertec.co.jp>  
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

- (ご注意)
- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  - 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本店でお支払いいたします。

### 当社Webサイトのご案内

<http://www.Lasertec.co.jp>

当社Webサイトには、IR情報をはじめ各種情報が掲載されています。ぜひご覧ください。

